



校長の伊藤です

校長の伊藤芳博と言います。校長として3年目(本校5年目、通算7年目)になります。よろしくお願ひいたします(趣味はランニング、神社めぐり、読書、詩)。

一昨年度(校長になった1年目)から、学校の様子が少しでも保護者の方々に伝わるようにと考え、校長通信「元気です」を発行しています。その時々私の考えも書かせていただきながら、各学部、寄宿舎の行事、子どもたちが活躍している様子、部活動の試合結果等をお伝えしてきました。保護者の方々から、『「元気です」楽しみにしていますよ』と言っていただくことも多く、今年度も、ご家庭とのつながりを大切にして学校運営を進めていくために、「元気です」を書いていきます。ご協力よろしくお願ひします。



「和」を大切に

新元号は「令和」となりました。なんと発表される日の午前の職員会議で、私は先生方に、「和」ということで話をしていました。「今年度は<和>を大切にしたい」ということで学校運営方針を話したのですが、見事、新元号と一致し、幸先良いスタートが切れました。



なぜ「和」ということを思いついたのか。それは、入学式の式辞で話す内容を考えていた際、小学部～高等部までの幅広い年齢層の子ども達に同時に伝わる話題は何か、ということで「アンパンマン」を思いついたところから始まります。式辞の内容は、また別の機会にお伝えしますが、アンパンマンがなぜ子どもたちに人気があるのかと考えてその顔のイラストを見ていたとき、「そうか、顔も丸い、鼻も丸い、頬も丸い、目も……すべて丸「○=輪=和」で描かれているからだ気付きました。

そこで、職員会議では、4つの「和」について話をしました。

- 1 「温和」…おだやかな気持ちで、ゆとりをもって物事に向かう。
- 2 「親和」…たがいに親しみ、仲良くする。
- 3 「調和」…1と2によって、学校にいい雰囲気(バランス)が生まれる。
- 4 「総和」…3によって、組織、集団としての大きな力が発揮される。

この4つの「和」を大切にして、新しい時代の東濃特別支援学校は出発します。